

経産省

14日に第二回調査団出発

「モンゴルカシミヤ委員会」

経済産業省「アジア産業  
基盤強化等事業」の一つで  
ある「モンゴルカシミヤに  
係る認証制度及び品質管理  
実施可能性調査」(通称「  
モンゴルカシミヤ委員会」)  
が14日から17日までの4日  
間、第二回の現地調査に出  
発する。モンゴルカシミヤ  
委員会は、大正紡績の近藤  
健一取締役が委員長を務  
め、メンバーにはデザイナー  
の皆川魔鬼子氏や三越伊  
勢丹ホールディングス、良  
品計画などの幹部が参加し  
ている。

日本では近年、混率不当  
表示問題や粗悪品増加でカ  
シミヤへの信頼感が低下し  
ており、カシミヤ原毛・製  
品を主力輸出品とするモン  
ゴルでは輸出減退など深刻  
な影響が出ている。このた  
めモンゴル政府などから日  
本に、カシミヤの認証制度  
や品質管理制度の可能性に  
関する調査研究の協力要請

があった。これを受けて経  
産省でも、モンゴルが日本  
にとってカシミヤの有力調  
達先となるような認証制度  
構築が可能かどうかを見極  
めることを目的に、基礎調

査を行うことになった。  
今年8月には、第一回の  
調査団が現地入りして基礎  
調査に当った。近藤委員長  
は「現地の大手メーカーで  
あるゴビ社のCEOとも何

度も意見交換を行ったが、  
非常に乗り気。十分に制度  
構築の可能性がある」と話  
す。14日からの第二回現地  
調査でも、モンゴル政府の  
農業・繊維担当幹部やカシ  
ミヤ原毛生産者などの意  
見交換を行う。調査研究を踏  
まえ、委員会では今後、最  
終的にコントロールユニオ  
ンによる生産工程、混率、  
織度などの認証制度構築を  
視野に入れている模様だ。